

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1271800326		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート東金 (2階)		
所在地	千葉県東金市堀上944		
自己評価作成日	平成28年1月2日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成28年1月27日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出支援を積極的に行っています。  
 今年度実績 東京ディズニーランド 東京ドイツ村 鴨川シーワールド 金谷美術館 東京湾フェリーで金谷港ー久里浜港を往復、茂原七夕祭り イチゴ狩り 玉葱狩り 大多喜ホテル狩り、銚子醤油工場等日々の外出は、外食会・カラオケ会、認知症カフェなど  
 食事は、旬の食材を取り入れた、献立作りを行っています。  
 毎月、職員研修を行い、スキルアップを目指しています

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者が日々楽しく、快適に生活できるように、外出支援には特に力を入れて取り組んでいます。今年度においても、県内のテーマパークや美術館、しょうゆ工場見学、電車を利用したの虫狩り等も新たに取り入れたほか、県外のテーマパークやフェリーで神奈川県まで出向く等、活動の幅を広げながら、利用者の楽しみを増やしている。外出支援のみでなく、日常支援の更なる充実を目指し、毎月の拠点会議の際には勉強会を定例で開催しており、職員の知識や技術を高めている。ホーム内も活気があり、職員と利用者も良好な関係が構築できており、利用者、職員共に笑顔の多いホームである。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地元の言葉で「何ともないよ」、「大丈夫」を意味する「あんどんねえさ」をサービススローガンとして継続し、新入社員にも伝え共有しています。	地元の表現である「あんどんねえさ」をホームのスローガンとして掲げ、利用者が日々安心して過ごせるように、職員一同スローガンを共有し日々取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外食会やカラオケ会や理髪店等、地域のお店を利用しています。地域の一斉清掃や敬老会に参加しています。	近隣の幼稚園児と運動会やクリスマス会を通じての交流のほか、地域の敬老会に利用者が招待を受け参加している。また、市内で開催される認知症カフェに利用者と一緒に参加する等、地域とつながりを持ち支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	随時、介護相談を受け付けています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	お客様状況、行事の案内をして市職員や民生委員さん、他事業所の管理者の方から、アドバイスを頂き取り入れています。	運営推進会議には、地域包括支援センター、市の担当課職員、近隣の幼稚園園長の参加を受け、2ヶ月に一度実施している。参加者から地域の情報を収集することができ、認知症カフェへの参加に繋げる等、サービス向上につなげている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には、毎回出席して頂き、貴重な助言を頂いています。居室の空き状況を報告して、市のホームページで公開して頂いたり、ケアマネ会議の際、情報提供を頂いています。	市の担当課との連携では、ホームの空き室状況を定期的に報告するほか、運営推進会議の議事録の提出に出向き、相談事がある際にはすぐに相談できる体制を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の開錠や階段の開錠をして、身体拘束のないケアを行っています。	身体拘束をしないケアの実践に向け、毎月の拠点会議時に「身体拘束及び虐待防止」研修を実施し、職員の意識を高めている。現状、玄関の施錠を含め、身体拘束につながり事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修で身体拘束や虐待による弊害を学び虐待の防止に努めています。		

グループホームガーデンコート東金(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	司法書士主催の後見人制度の勉強会に参加したり、権利擁護に関する制度をテーマに社内研修を実施しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、お客様の不安や質問にお答えし、納得して頂いた後に署名捺印を頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見ボックスを設けています。年1回、本部でお客様アンケートを実施しています。また、結果を公表し改善しています。	年に一度本部主導による顧客満足度調査を行っており、家族の方から運営に関する意見や要望を確認している。結果については各ホームにフィードバックされ、要望等が挙がった際には迅速に対応を行っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り時や会議で発言する機会を設けています。管理職会議で意見を提案し、改善、反映させています。	職員からの意見については、管理者、主任が中心となり、日頃から職員に声をかけ意向等を聞き取るようにしている。また、毎月拠点会議を行い、職員からの意見や要望を確認している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当と資格段位制度を導入しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者、主任、リーダー、CM等職種毎の研修を本部開催で行っています。外部研修についても、対象者には参加を促しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加盟しています。また、地域の合同研修会にも参加し、他事業所の運営推進会議に参加しています。		

グループホームガーデンコート東金(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前に、ご自宅や入院先にお邪魔させて頂き、顔なじみになって頂けるように働きかけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	私達が出来る事と出来ない事をしっかりと伝えた上で、お客様が望んでいる生活に近付けるようなプランの提案をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護サービスの種類や利用料をお伝えし、入居型のサービスの対象者など判断材料の提供も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭菜園の管理や調理法等をお客様から教えて頂き、一緒に保存食作りや調理をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事へお誘いしたり、外出・外泊は制限を設けることなく対応しています。 体調不良時等は、連絡をしてお見舞いに来て頂いたりしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達や地元の近所の方がお見えになりました。また、掛かりつけの病院へ通院したり、馴染みの美容院等を利用しています。	ホーム入居後においても馴染みの人や場所との関係が途切れないように、友人の来訪の受け入れ、近隣の美容院や外食等を通じ馴染みの関係が継続できるように取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	配膳や下膳、洗濯物の畳み等、得意な事をお客様同士で協力して頂いています。		

グループホームガーデンコート東金(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院となっても、ご家族から連絡を頂くことがあります。個人的な意見を含め、アドバイスをしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話の中で、ご本人の関心事やご希望を汲み取るように努めています。困難な場合、ご家族と相談したり、皆様と同じ事を体験して頂いたりして本人本位の支援に努めています。	利用者の思いや意向に関しては、日常会話からの聞き取りのほか、ケアプラン作成時のアセスメント時において、利用者一人ひとりの課題のほか、意向や要望を収集しケアプランに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面接の際、生活暦等をお伺いしています。また、職員間で共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録や申し送り、モニタリングの際に気がついた事があれば、職員間で報告と現状の把握、共有に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の要望を踏まえ、主治医や薬剤師と担当者会議の場で話し合い、プランを作成しています。	アセスメントの結果を踏まえ担当者会議を開催し職員からの意見を収集している。ケアプラン作成後は家族に説明し同意を得ている。ケアプランの内容は毎月のモニタリングの中で評価し、達成度及び利用者満足度を確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に、プランの実践状況を記録し、介護記録や関わり方の見直しに反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自費のサービスでの多機能化に対応していますが、手の届かない部分もあるかと思えます。		

グループホームガーデンコート東金(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のスーパーへの買い物や幼稚園の運動会に参加したり、園児をホームに招待する等、関係を築いています。近くの小規模多機能の催しに参加しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	掛かりつけ医を継続しています。また、掛かりつけ医の紹介で専門医を受診することもあります。	ホーム提携先の医療機関による往診を継続し、利用者の健康管理を行っている。受診については利用者本人や家族の意向も大切に、初回の受診対応はホームでも行い、医師と関係性が築けるように取り組んでいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様の情報や気付きは、主治医や薬剤師に相談させて頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	面会は、勿論、担当医や看護師に病状や治療方針、また、期間、退院後に注意すること等を担当者会議を開催し伺うようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期は、なるべくご要望を反映させますが、出来る事と出来ない事を主治医を交え早期に話し合いをします。状況によっては、入院のご案内をしています。	重度化や終末期の方針については、ホームとしてできる事、できない事を家族に早い段階で説明している。重度化や終末期をむかえた際には、家族、医療機関と連携し、本人本位の支援に向けて支援方針を検討することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修で救急救命の仕方、応急手当の方法を学び、緊急時役立てられる様にしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、防災訓練を行っています。また、夜間を想定した避難訓練も行っています。社内研修では避難経路確認、消火器設置場所の確認をしています。	夜間の火災を想定した避難訓練を実施しているほか消火や通報訓練についても確実にしている。避難訓練実施の際には地域の方にも声をかけ、災害時においても連携が図れるように努めている。	

グループホームガーデンコート東金(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室を訪問する際は、必ず声を掛けさせて頂いています。 排泄・入浴では最少の職員で対応できるように心掛けています。	利用者のプライバシーを損ねる事が無いように、ホーム内において「接遇マナー、プライバシー保護について」を実施している。利用者への声かけについても日々振り返り不適切な対応につながらないよう取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買い物や外出等で選択する場面を作っています。日々の献立は、お客様の要望を取り入れています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴回数や時間など、本人の希望を叶えるように支援しています。 自由に過ごして頂き、外出支援もしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	なじみの理髪店で、カットしたり、衣類を一緒に買い物に出掛けたりしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作りから、調理補助等一人ひとりの出来る範囲を勘察し、手伝って貰っています。また、外食会でレストランや食堂に食べに出掛けます。	食事の準備では、食材の買い物や調理準備等利用者も関わりながら準備を進めている。食事メニューも利用者の要望を反映し栄養バランスも配慮し作成している。また、食事を楽しむ工夫として外食も定期的に取り入れている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	皆様の要望を考慮しつつ栄養のバランスが保てるように考慮しています。水分量は1日1500ccを目標に飲み物を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食の前後にうがい、手洗いを施行しています。必要に応じて、訪問歯科の受診や歯科医、歯科衛生士のアドバイスを頂いています。		

グループホームガーデンコート東金(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	皆様、基本はトイレで排泄しています。布パンツの方もいます。	利用者一人ひとりの排泄状況を「個人日誌」内の排泄表に記録し、職員間で排泄パターンを共有している。日中は、定時の声かけや誘導によりトイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1日1500ccを目標に水分を取って頂き、適度な運動とストレッチ体操の支援をしています。排便スケールを用い、便の状態観察⇒主治医にアドバイスを頂いています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	予定の曜日や時間はありますが、希望に沿った対応を行っています。好みの入浴剤を使ったり、ゆず湯にしたりして季節の演出をしています。	入浴については本人の要望や体調を考慮し、週に2~3回利用者のペースで入浴できるよう支援している。入浴中は職員も介助につき、安全に入浴できるよう支援している。入浴状況は「個人日誌」に記録している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、活動的に過ごして頂く事や居室の温度や明るさにも気を配り、寝具や寝巻きなど安眠できる環境づくりを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、薬剤師の指導のもと、服薬介助をしています。体調に変化が見られた時は速やかに主治医、薬剤師に相談しています。薬剤師による社内研修を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	献立書きや洗濯物の畳み等をお願いしたり、将棋やパズルを楽しむ方もいます。感染症対策として施設内の手すりの消毒をしていただいています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	カラオケ、外食会等に外出する機会を設けています。遠足を企画し、ディズニーランド、東京ドイツ村、鮎子醤油工場、金谷美術館、イチゴ狩り、たまねぎ狩りに出掛けました。	県内外の外出行事の実施や外食会やカラオケ、認知症カフェへの参加など日常的にも外出できる機会を設け、戸外に出かけられるよう支援している。外出支援は毎月実施しており、普段は行けない様な場所にも安全に考慮しながら積極的に向出している。	



グループホームガーデンコート東金(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お買い物の際、ご自身で会計をして頂けるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙の制限は設けていません。電話を掛けたり、取り次いだり、年賀状や手紙の投函をお願いされることがあります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔に努め、季節ごとに装飾を変えるなど工夫をしています。季節毎にお客様の作品を展示しています。	ホーム内には利用者の作品や思考を凝らした作品が装飾され、季節に応じて装飾も変え季節感が感じられるよう工夫している。リビングや廊下、浴室等の掃除も行き届いており、衛生面も配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや廊下にソファを玄関に縁台を置き、自由に過ごせる空間を提供しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた物や思い出の品等を持ち込んで頂き、ご自身の部屋を再現して戸惑いなく過ごして頂けるように工夫をしています。	居室内には利用者の馴染みの物の持ち込みを可能とし、家具類の配置も利用者の要望に沿って対応し、居室内においても居心地良く生活できるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	エレベーターの使用を控え、階段昇降を運動メニューに取り入れています。 トイレは、廊下に案内を付けて、分かりやすくしています。		